

高
2022

国

語

始める前に左の注意事項を読みなさい。

- 始めの合図があるまで開いてはいけません。
- 問題は全部で17ページあります。
- 答えはすべて解答用紙に書きなさい。
- 問題冊子、解答用紙のいずれにも受験番号、氏名を書きなさい。
- 質問のあるときは静かに手をあげ先生の指示を待ちなさい。
- 終わりの合図があったら、ただちに筆記用具を置きなさい。
- 問題冊子を持ち帰ってはいけません。

受験番号	
氏	名
	ふりがな

□ 次の文章は、ゴリラ研究の世界的権威で、人類学者の山極寿一さんの記したものである。これを読んで後の問に答えなさい。

ゴリラの世界から見ると、^①生後1年で乳離れをする人間の赤ちゃんは、とても不思議に思えます。類人猿の赤ちゃんは、概して長い期間、母乳を吸って育ちます。たとえば、ゴリラの場合、生後1年間はお母さんにしがみついてお乳をしゃぶっています。成長するにつれ、母親から離れる時間が徐々に長くなりますが、栄養は基本的にお母さんのおっぱいからで、4歳くらいでようやく乳離れをします。チンパンジーは5年、オラウータンにいたっては7年も母乳を飲んで育ちます。いよいよ離乳するとうときには、すでに永久歯も生えているので、彼らはおとなと同じものを自立して食べることができます。誰の補助も要らず、人間のように離乳食の必要もありません。人間の子どもも、永久歯が6歳にならないと生えないことを思えば、ゴリラなどほかの類人猿と同じように、本来はそれまでお母さんのおっぱいを吸い続けていいはずなのに、生まれて1年で早々に乳離れします。

この人間の赤ちゃんの乳離れの早さもまた、人間が熱帯雨林から出たこと^②端を発しています。ライオンやチーターなど強力な肉食獣が徘徊するサバンナに出たとき、乳幼児の死亡率は急上昇したと考えられます。肉食獣は捕まえやすい子どもを狙うからです。人類は、このままでは死に絶えてしまう。そこで、子どもをどんどん産み増やす必要が出てきました。

^③人間に限らず、肉食獣に狙われやすい哺乳類はすべて多産です。日本でいえば、イノシシ、シカなどがそうですね。人間はもともとイノシシのように、一度にたくさん産むという性質を備えていないので、シカのように出産間隔を縮めて何度も子どもを産む道を選びました。お母さんは乳が出ると排卵が抑制されます。早く次の子どもを産まなくてはいけなくなった人間のお母さんは、乳幼児をおっぱいから離して乳の出を止め、次の排卵を

回復させる方法をとったのです。(中略)

こうして、^④捕食者、肉食者に対抗して多産になった人間ですが、シカのように成長の早い子どもを産むことはできません。不思議なことは、生まれるときの赤ちゃんの大きさです。成人したオスが200キロにもなるゴリラが、1・6キロ程度ととても小さく生まれるのに対し、人間の赤ちゃんは、その倍近く、3キロほどの大きさで生まれてきます。しかし、成長した状態でうまれてくるかといったらそうではありません。とてもひ弱で、生まれたときはお母さんに^{つか}頼まれないほど。しかも成長が遅いのです。5歳になると50キロを超えるゴリラなど、ほかの類人猿の子どもと比べても、人間の赤ちゃんはなかなか大きくなりません。シカの子どもは、生まれた直後から4本足で立って歩きますね。本来、多産の動物の子どもはこのように速く成長する必要があるのに、人間の赤ちゃんは、非常に成長が遅い。

^⑤この矛盾は、身体の成長を後回しにして、脳の成長を優先したことで起こったものでした。直立二足歩行をするようになった人間は、骨盤の形を皿状にしたために産道の大きさが制限され、胎児の状態で脳を大きくしてから産むことができません。そのため、人間は脳が小さいままで赤ちゃんを産み、生後に脳を急速に発達させる必要が出てきたのです。ゴリラの場合、脳は生まれてから4年かけて2倍ほどの大きさになり、そこで成長が止まりますが、人間の赤ちゃんの脳は、生まれて1年で2倍になります。人間の脳は、ゴリラの4倍の速さで成長するということです。

ぼくは、ゴリラの赤ちゃんを育てたことがあります。ガリガリで体脂肪率は5%以下です。一方、人間の赤ちゃんは体脂肪率が15〜25%と非常に高く、まるまると太っています。これは、多くのエネルギーを必要とする臓器である脳に栄養を送り続けるためです。人間の成人では、摂取エネルギーの20%以上が脳に供給されています。

体重のわずか2%しかない脳に20%のエネルギーを送っているということも驚きですが、成長盛りの赤ちゃんの場合、実に45〜80%ものエネルギーが脳に送られています。人間の赤ちゃんは、体の成長を犠牲にして脳を発達させているのです。

^⑥ こうして人間は、頭でつかちで、成長の遅い子どもをたくさん抱えることになりました。お母さんは、次の子どもを産むために子どもから離れざるを得ません。母親から離れた子どもは、周囲の人間たちが安心と信頼を^⑦ホシヨウしないと生きていけません。そこで共同体が必要になりました。こうして、おばあちゃんやおじいちゃん、そして家族以外の多くの人たちがみんな子どもを育てるようになりました。

人間同士の信頼は、こういう社会の中で、子どもに無報酬の奉仕をすることでつくられてきたのだと思います。そうした人間の性質を表しているのが、赤ちゃんの泣き声です。ゴリラの赤ちゃんは、ずっとお母さんの胸の中にいるため泣く必要がありません。^⑧ところが、人間の赤ちゃんは、母親以外のおとなの手を必要とするので、大きな声で泣きます。赤ちゃんが泣いたら誰も放っておくことができませぬ。本来なら自分で好きなことができる時間を赤ちゃんにとられる。しかも、その見返りとして自分は利益を何も得ない。でも、それが人間の社会の中では当然のこととされているし、実際、あやしたり言葉をかけたりすることで赤ちゃんが一瞬でも笑ってくれたりするとすごくうれしい。だから、誰もが赤ちゃんに一生懸命尽くそうとするのです。そういう時間を共有しているうちに、おとな同士の間にも信頼が^⑨醸成されていったのでしょ。う。

食物を分配する特徴をもった種とそうでないものに分けると^⑩面白いことがわかります。ここでいう分配とは、相手に食物を差し出すような積極的な行動ではなく、相手が目の前の食物を取ってもそれを許容するといった

A 的なものです。たとえば、ニホンザルは、基本的に食物を分配しません。序列のはっきりしたサルは、エサを前にすると、必ず強いほうが独り占めをし、弱いほうが引き下がります。一方、チンパンジーやゴリラは分配をします。エサを持っているオスは、弱い立場にあるメスや子どもから分配を要求されれば、取っていくのを見逃すことがある。これが霊長類の食物分配です。

霊長類には450（日本モンキーセンター編『霊長類図鑑』による）ほどの種があるとされていますが、おとな同士で食物が分配される種では必ず、おとなから幼児に対して食物が分配されています。しかし、おとなから幼児に食物が分配されていても、おとな同士で分配されるとは限りません。これはつまり、元々は【B】普及していったということでしょう。

さらに興味深いのは、この食物分配が、ゴリラや人間など、高い知性をもった種にだけ起こることではないということです。南米には、タマリンやマーモセットなど、ポケットモンキーと呼ばれる小さなサルたちがいますが、彼らの社会では、おとな同士の間でも食物の分配が見られます。彼らは、双子、三つ子を当たり前のように産みます。複数の子どもたちをお母さんだけでは育てることができないので、年上の子どもや複数のオスたちが、生まれた子どもを背中に乗せて運び、子どもたちに食物を分配するなど、皆で世話をします。

つまり、食物の分配は、知性の高さではなく、子育ての負担の大きい社会で起こる現象であるということです。子育てにかかる親の負担が大きいと、ほかの個体が子育てに関与する機会が生じる。ゴリラをはじめ類人猿の場合、子どもの成長が遅いので、子育ての期間が長く、お母さんのお乳を長期間吸っています。離乳期間も長く、その間徐々におとなの食物を覚えていきます。お母さんが長い間手をかけなくてはいけないことも、負担が大きいということです。短期間に成長の遅い子どもをたくさんつくる人間は、ポケットモンキーのような多産と、類人猿のような遅い成長という、食物分配を引き起こす二つの要因をあわせもっているのです。

食物分配と共感力には強い関係があります。食物分配をしないニホンザルと、食物分配をするタマリンやマーモセットで、他者をいたわる行動（アザー・リガーディング・ビヘイビア）がどれくらい違うかを調べた結果、ニホンザルではこの行動が見られなかったのに対し、^①タマリンやマーモセットでは、脳が小さいにもかかわらず、この行動が多く見られました。

こうした研究から、共感力は、共同で子どもを育てる種、子どもの成長に時間がかかる種で発達した可能性が高いと推測できます。こうした共感力が、おとなと子どもの間だけではなく、おとな同士の間へと拡大したのでしよう。

（山極寿一『スマホを捨てたい子どもたち』より）

問一 傍線部①「生後1年で乳離れをする人間の赤ちゃんは、とても不思議に思えます」とあるが、どんなところが「不思議」なのか、次から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 永久歯が生える前なのに、乳離れをするところ
- イ わざわざ離乳食が必要なのに、母乳を飲ませなくなるところ
- ウ 生後1年ほどで、お母さんのお乳を飲まなくなるところ
- エ 子どもを産んで1年たつと母乳が全く出なくなるところ

問二 傍線部②「端を発しています」、⑨「醸成されていった」の語句の意味をそれぞれ次から一つ選び、記号で答えなさい。

②端を発しています

- ア 本当の原因があります
- イ きっかけになつて物事が始まっています
- ウ 結末が見えています
- エ 多くの人が知ることとなります

⑨醸成されていった

- ア 急速にひろがつていった
- イ 長い時間をかけて伝わつていった
- ウ 静かに形成されていった
- エ しだいに作り出されていった

問三 傍線部③「人間に限らず、肉食獣に狙われやすい哺乳類はすべて多産です」とあるが、多産な哺乳類の中で特に人間に特徴的なことは何か、次から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 離乳の時期が早く、赤ちゃんの成長も早いこと
- イ 離乳の時期が早く、赤ちゃんの成長が遅いこと
- ウ 離乳の時期が遅く、赤ちゃんの成長が早いこと
- エ 離乳の時期が遅く、赤ちゃんの成長も遅いこと

問四 傍線部④「捕食者、肉食者に対抗して多産になった」とは、どういうことか、次から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 多くの子孫を産み育てて、捕食者、肉食者に反撃できるようになった
- イ 効率よく子どもを産み育てることで、捕食者、肉食者から逃れられるようになった
- ウ 捕食者、肉食者に襲われても、子孫を残すことができるようになった
- エ 同じ環境で捕食者、肉食者と上手にすみ分けることができるようになった

問五 傍線部⑤「この矛盾」とあるが、「矛盾」という言葉を正しく使っているのはどれか、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 明日は雨が降っても、運動会は予定通りに運動場で実施するというのは、矛盾している。
- イ 明日は雨が降らないと言っているのに、雨傘とレインコートが必要だというのは矛盾している。
- ウ 明日の天候について、雨なのか晴なのか、はっきりしないという天気予報は、矛盾している。
- エ 明日の遠足は、天候にかかわらず実行するとした学校の判断は、矛盾している。

問六 傍線部⑥「こうして人間は、頭でっかちで、成長の遅い子どもをたくさん抱えることになりました」とあるが、このような進化をするなかで人間が得たものは何か、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 家族
- イ 共同体
- ウ 食物分配
- エ 序列

問七 傍線部⑦「ホシヨウ」を漢字に直すと次のどれか、記号で答えなさい。

- ア 保障 イ 補償 ウ 保証 エ 歩障

問八 傍線部⑧「人間の赤ちゃんは、母親以外のおとなの手を必要とするので、大きな声で泣きます」とあるが、

人間の赤ちゃんが大きな声で泣くことが、人間にもたらしたものは何か、次から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人間同士が互いに信頼しあう関係
イ 利益や見返りをまったく求めない人間の社会
ウ 安心と信頼を基本とした人間の家族関係
エ 人間が子どもをあやすための言葉

問九 傍線部⑩「面白いことがわかります」とあるが、なにが「面白い」のか、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 食物分配と知性には関連性がないということ
イ 食物分配と集団の人数には関連性があるということ
ウ 食物分配と子育てには関連性があるということ
エ 食物分配と序列のあり方には関連性があるということ

問十 空欄Aに入る語を二字で記しなさい。

問十一 【B】に入るべきものは次のどれか、一つを選び、記号で答えなさい。

ア おとなが、おとな同士で食物を分配し合い、その行為が、子どもにも

イ おとなが、養育している群れの子どもから食物を分配してもらい、その行為が、おとなにも

ウ おとなが、群れ全体に食物を分配しているうちに、その行為が、子どもの中に

エ おとなが、そのおとなが養育している子どもに食物を分配し、その行為が、おとなの間に

問十二 傍線部①「タマリンやマーモセットでは、脳が小さいにもかかわらず、この行動が多く見られました」

とあるが、これはどのようなことを示しているのか、次から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 時間をかけて共同で子育てをする種は、そのことを通じて、共感力が身につく、高い知能が発達しているということ。

イ 脳の知的な進化と共感力の発達には関連性がなく、共感力は子育てのあり方という偶然性に左右されるということ。

ウ 食物分配と子育てには深い関連性があり、その関係を解くかぎは共感力であり、知的能力の大きさには関係がないということ。

エ 食物分配と共感力の関連性には、子育てのあり方が深く関わっており、知能や脳の発達とは関わりがないということ。

問十三 この文章を読んで4人の生徒が感想を話し合っています。内容の理解において誤っているものはどれか、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ゴリラについて研究し、自分自身もゴリラと間近に生活をした経験をふまえて書かれた文章なので、説得力があり、とてもおもしろく感じた。

イ 人間とサル、類人猿などの比較が具体的に記されていて、非常に興味深く感じた。子育てのありかたとその種の仲間同士の関係性に深い関連があるということがよく分かった。

ウ ゴリラ研究の権威が書いた文章だっただけに、ゴリラと人間の共通性と相違点を中心に詳しく説明してあり、みんなで子育てをする大切さがよく理解できた。

エ 子育ての形が、食物分配や仲間同士の関係性に大きな影響を与えていることが分かり、人間の進化の過程まで想像でき、人類学に関心をもつことができた。

二 次の【A】は、『伊勢物語』（四〇段）の一節とその現代語訳、【B】は、『仁勢物語』（四〇段）の全文です。それぞれの文章を読んで、後の問に答えなさい。

【A】

むかし、若き男、けしうはあらぬ女を思ひけり。さかしらする親ありて、^①思ひもぞつくどて、この女をほかへ追ひやらむとす。さこそいへ、まだ追ひやらす。人の子なれば、まだ心勢ひなかりければ、とどむる勢ひなし。女もいやしければ、すまふ力なし。さる間に、思ひはいやまさりにまさる。^②に|はかに親、この女を追ひうつ。男、血の涙を流せども、^③とどむるよしなし。率^ひて出でていぬ。男、泣く泣くよめる。

出でていなばたれか別れの難からむありしに
まさる今日は悲しも

とよみて絶え入りにけり。親あわてにけり。

〔現代語訳〕

昔、若い男が、容貌や気立てがそう悪くはない女をいとしく思った。おせっかいなことをする親がいて、思いが深まってしまったら大変だと考えて、この女をよそへ追い出そうとする。そうは言うものの、まだ追い出してはいない。親がかりの身だから、まだ自分の意志を通そうとする強い気持ちになかったので、止める力がない。女も低い身分なので、抵抗する力がない。そうこうするうちに、恋心はいよいよ強く募った。^①、親はこの女を追い出した。男は、血の涙を流すけれども、^②。親に命ぜられた者が女を連れて、家を出て行った。男が、泣く泣く詠んだ。

女が自分から出て行ったのなら、誰が別れがたいと思うだろうか。女は無理に追い出されたのだから、以前にもまさって、今日は悲しいことだよ。

と詠んで、気絶してしまった。親は慌ててしまった。

【B】

をかし、若き男、芸にもならぬ相撲すまふをとりけり。嬉しがる親にて、よくとると思ひて、この子をほかに
てとらせんとす。さこそいへ、^①いまだとらせず。独り子なれば甘やかしかければ、とるに^②いきほひなし。
この子病み上りなりければ、相撲の力なし。さる間に、相手はいや勝りに勝る。にはかに、親、この子を連
れて行く。この子、^③ちりめんの手綱たんなをして、^④轟足踏みし、出てとりぬ。この子、^⑤なよなよと詠
める。

(注3) 出てとらば誰か我には勝たざらんありし力も今日は悲しも

と詠みて投げられにけり。^④親あわてにけり。よくとると思ひてこそとらせしか。いとかくも投げられじと
思ふに、真実に絶えにければ、^⑤方屋かたやにて願立てけり。今日の^⑥入相ばかりに絶え入て、またの日
の^⑦戌いぬの時ばかりになん、養生やうじやうして生きいでたりけり。昔の阿呆あほうは、^⑧さる相撲をなんとりける。今の
各おのおのまさしになんや。

【語注】

- 1 ちりめんの手綱 …… 絹織物のふんどし、まわし。
- 2 轟足踏みし …… どっしどっしと四股をふみ。
- 3 出てとらば〜今日は悲しも …… 出ていって相撲をとったら、誰が私に勝たないことがある
うか。昔もっていた力が、今はもうないから、今日は悲し
いことだよ。
- 4 方屋 …… 相撲をとる場所。

5 入相ばかり

…… 日暮れ頃。

6 戌の時ばかり

…… 午後八時頃。

問一 傍線部①「思ひもぞつく」とありますが、この「思ひ」は、A 誰の、B 誰に対する、「思ひ」のことですか。

次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 若き男 イ けしうはあらぬ女 ウ さかしらする親

問二 [A]には、傍線部②「にはかに」の意味が入ります。最も適当なものを、次から選び、記号で答えな

さい。

ア いつの間にか イ 突然 ウ ゆつくりと エ 強引に

問三 [B]には、傍線部③「とどむるよしなし」の現代語訳が入ります。最も適当なものを、次から選び、

記号で答えなさい。

ア 親が男を元気づける方法がない イ 男が女と家出をする方法がない

ウ 女が親と共に暮らす方法がない エ 男が女を引き留める方法がない

問四 二重傍線部①～④の中で、現代仮名遣いに直した場合に、表記が変わるものを一つ選び、記号で答えなさい。

問五 傍線部④「親あわてにけり」とありますが、それはなぜですか。その理由として最もふさわしいものを、次から選び、記号で答えなさい。

- ア 相撲の相手が、こんなに未熟な子どもであったとは思っていなかったから。
- イ 自分の子が、こんなに簡単に投げられてしまうとは思っていなかったから。
- ウ 相撲の相手が、こんなに素早く投げ技ができるとは思っていなかったから。
- エ 自分の子が、こんなに相撲のとり方を知らないとは思っていなかったから。

問六 傍線部⑤「さる相撲をなんとりける」は、「そんな相撲をとったものである」という意味ですが、「若き男」が「そんな相撲」しかとれなかった理由を、【B】の本文では、どのように説明していますか。【B】の本文中から、十二字で抜き出して答えなさい。

問七 はるきくんのクラスでは、国語の授業で【A】・【B】の本文について学んできました。次の会話文は、はるきくんのグループが、本文について感想を述べ合っている様子です。これについて、問いに答えなさい。

はるき 【A】の本文も、【B】の本文も、扱っている題材はまったく違うけれど、共通して X が描かれていますと思うなあ。「人の子」が「独り子」になっているなど、言葉も似せているよ。

かえで そうだね。【B】の本文は、【A】の本文を、パロディ化した作品だと言われているよ。パロディって、「有名作品の表現を誇張したり、もじつたりして、おもしろく作り替えたもの」のことだね。【B】の本文の作者は、なにがきっかけになって、「相撲」を題材にしたこの本文を思いついたんだろう……。

みずき きつと【A】の本文の「Y」という表現から、思いついたんじゃないかな。「Y」という表現が発想のきっかけになって、恋愛の物語を、スポーツを題材にした物語に、作り替えたんだと思うなあ。

ひろと 僕もそう思うよ。今では、インターネットで調べれば、有名な文学作品や映像作品のパロディ動画を、すぐに見つけられるよね。【B】の本文が書かれてから数百年も経っているけれど、今のパロディ動画も【B】の本文も、作品を作った人たちの思いは、共通している部分があると思うなあ。

〈I〉 X に入る最も適当なものを、次から選び、記号で答えなさい。

- ア 男が人として成長し自立していく過程
- イ 女と親がお互いのことを分かり合う姿
- ウ 男が親の真の思いに気づくまでの物語
- エ 親が予想していなかった事態に驚く姿

〈II〉 Y に入る最も適当な語を、【A】の本文中から、三字で抜き出して答えなさい。

問八 【A】の『伊勢物語』は平安時代に、【B】の『仁勢物語』は江戸時代に成立した作品です。【A】・【B】と

同じ時代に成立した作品を、次から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 平家物語
- イ おくのほそ道
- ウ 方丈記
- エ 徒然草
- オ 竹取物語

三 次の語句や文法に関する問に答えなさい。

問一 次の■には、色を表す漢字一字が入ります。正しい慣用句となるように、正しい漢字一字を答えなさい。

野球部のキャプテンとして、森くんに■羽の矢が立てられた。

問二 次の中で、文法上正しい敬語が使われているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 東村山駅の近くにあるカフェで、もうオムライスをいただきましたか。

イ まだ召し上がれていません。食べてみたいとは、思っていますが……。

ウ 実は来週、そのお店にうかがう予定です。一緒に食べに行きませんか。

エ ぜひ食べに行きたいです。来週の何日に、お店にうかがう予定ですか。

問三 次の中で、「喜怒哀楽」と同じ漢字の構成になっている四字熟語を一つ選び、記号で答えなさい。

ア 一喜一憂 イ 花鳥風月 ウ 右往左往 エ 威風堂々

問四 次の中で、「あいにく」を正しく用いているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 夕食のおかずは、あいにく大好物のラザニアだった。

イ 星空を見ようとしたら、あいにく満天の星空だった。

ウ 奈良に住む友人を訪問したが、あいにく留守だった。

エ 昨夜は早く眠れたので、あいにく早朝に目が覚めた。

四 傍線部の漢字の読みを、それぞれ答えなさい。

- ① 国際的問題には仲裁役が必要だ。
- ② 友人の車に便乗させてもらった。
- ③ 格子戸をくぐり抜けて外に出た。
- ④ 現代に山積している多くの難問。
- ⑤ 雑踏の中で昔の恩師に出会った。

五 傍線部のカタカナを、それぞれ漢字に直して答えなさい。

- ① アラスカの大自然のキョウイに感動した。
- ② 友人はケンジツな生き方を心がけている。
- ③ 多くの情報からシュシヤ選択して考える。
- ④ 彼は上司からゼンブクの信頼を得ている。
- ⑤ 悪のオンシヨウをぜひ根絶していきたい。

